

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

# NII 国立情報学研究所

## 学術情報基盤

### オープンフォーラム2017

2017年  
6 / 7 水 ▶ 9 金

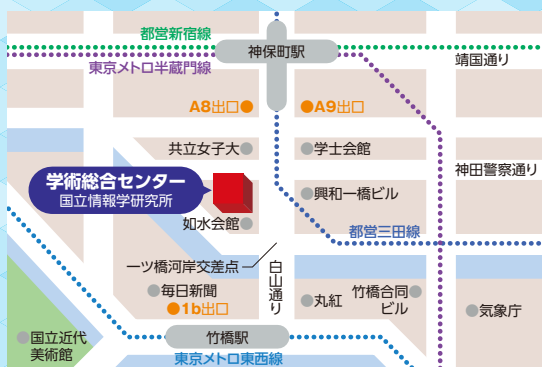


会場 **学術総合センター** 一橋講堂・特別会議室ほか  
(千代田区一ツ橋)

21st Century Academic Information Infrastructure for  
Advancing Open Science

共に考え共に創る学術情報基盤を

	Day 1	6/7 水	Day 2	6/8 木	Day 3	6/9 金
午前	中会議場 (2F) 10:00-12:00 ● 認証(学認)トラック 「お役に立ちます、eduroam」 定員: 90名	特別会議室 (1F) 10:00-12:00 ● 認証(学認)トラック 「お役に立ちます、eduroam」 定員: 90名	小会議室 (2F) 10:00-12:00 ● クラウドトラック 「学認クラウド導入支援サービス参加機関向けワークショップ」 非公開	特別会議室 (1F) 10:00-12:00 ● SINET5トラック 「SINET5(基本編)」 定員: 90名	1208会議室 (12F) 10:00-12:00 ● コンテンツトラック 「これからの学術情報システムは何を目指すのか: 所蔵目録から情報資源の発見とアクセスへ」 定員: 120名	一橋講堂 (2F) 10:00-12:00 ● セキュリティトラック <b>注目</b> 「橋渡し人材の育成に向けて」 一国内サイバーセキュリティ全体の底上げをめざして 定員: 500名
午後	13:00-17:00 ● リポジトリトラック 「学術機関リポジトリの最新動向-オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)の取組み-」 定員: 250名	13:00-15:00 ● クラウドトラック 「NIIのクラウド導入利用支援」 定員: 90名 15:30-18:00 ● 認証(学認)トラック 「学認-トラストの現在と未来-」 定員: 90名	13:00-14:30 ● クラウドトラック 「オンデマンドクラウド構築サービスとその活用事例」 定員: 60名 15:00-17:00 ● 研究データトラック 「研究データ管理のための新サービス提供に向けて」 定員: 60名	13:00-15:00 ● SINET5トラック 「SINET5(応用編)」 定員: 90名	13:00-14:30 ● コンテンツトラック 「これからの学術情報システムは何を目指すのか: 所蔵目録から情報資源の発見とアクセスへ」 定員: 120名	国立情報学研究所 <small>研究成果発表-一般公開</small> <b>オープンハウス2017</b> SINET アイデアソン オープンハウス 2017で 6/10(土) 開催! 1901会議室 (19F) 14:30-16:30 ● 認証(学認)トラック 「UPKI電子証明書発行サービスのこれから」 定員: 90名



〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター

Twitter <https://twitter.com/jouhouken>  
 オープンフォーラム ハッシュタグ #SINET5

お申込み <http://www.nii.ac.jp/csi/openforum2017>  
 お申込みはウェブサイトのお申込みフォームから受け付けています

お問合せ [openforum@nii.ac.jp](mailto:openforum@nii.ac.jp)  
 国立情報学研究所 学術基盤課 フォーラム担当

アクセス 東京メトロ半蔵門線/都営地下鉄三田線・新宿線「神保町」A9出口  
 東京メトロ東西線「竹橋」1b出口  
 徒歩3~5分

# 国立情報学研究所 学術情報基盤オープンフォーラム2017

<p><b>Day 1</b> 6/7 10:00-12:00 1F 特別会議室(定員:90名) 認証(学認)トラック</p> <p><b>「お役に立ちます、eduroam」</b></p> <p>他大学を訪問したとき、他大学から訪問者が来たとき、セキュアな仕掛けで無線LANを使いたい—そんなとき、キャンパス無線LANローミングのデファクトスタンダード「eduroam」がきっとお役に立ちます。本セッションではeduroamの魅力と参加方法、技術的な基礎と注意点などについて、とことん解説します。</p>	<p><b>Day 1</b> 6/7 13:00-15:00 1F 特別会議室(定員:90名) クラウドトラック</p> <p><b>「NIIのクラウド導入利用支援」</b></p> <p>本セッションでは、NIIのクラウド導入利用支援の取り組み全般を紹介します。学認クラウド 導入支援サービスの正式運用とクラウドゲートウェイの試験運用で得られた知見をもとに、大学・研究機関がクラウドの導入・利活用を推進するにあたっての課題とその解決策について議論します。</p>	<p><b>Day 1</b> 6/7 15:30-18:00 1F 特別会議室(定員:90名) 認証(学認)トラック</p> <p><b>「学認—トラストの現在と未来—」</b></p> <p>機関におけるID管理は、ICTインフラの基幹部分としての重要性を高めています。日本では学認がアカデミアにおけるID連携の柱を提供していますが、このID連携で重要な要素となるのが、トラスト(信頼)の概念です。本セッションではこのトラストを主題として、認証基盤運用指針の説明と、IdP運用状況の調査結果を報告します。その上で、それらを取り巻く情勢と、導入事例が増えつつあるIDaaSについて解説し、トラストの現在と未来をより鮮明にしていきます。</p>
<p><b>Day 1</b> 6/7 13:00-17:00 2F 中会議場(定員:250名) リポジトリトラック</p> <p><b>「学術機関リポジトリの最新動向—オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)の取組み—」</b></p> <p>平成28(2016)年7月にリポジトリの新しいコミュニティであるオープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)が誕生しました。本セッションでは、JPCOARの詳細、学術機関リポジトリをとりまく状況、JPCOAR作業部会・タスクフォースの活動成果など、JPCOARの取組みについて、機関リポジトリの実務担当者をはじめ関係される方を対象に、分かりやすく紹介します。</p>	<p><b>Day 2</b> 6/8 10:00-12:00 12F 1208会議室(定員:120名) コンテンツトラック</p> <p><b>「これからの学術情報システムは何を目指すのか：所蔵目録から情報資源の発見とアクセスへ」</b></p> <p>コンテンツの形態や粒度の多様化、爆発的な量的拡大の中で学術情報の基盤である学術情報システムは変革を迫られています。本セッションでは「これからの学術情報システム委員会」の取組として、NACSIS-CAT/ILLの軽量化・合理化と電子リソース管理の検討状況を紹介した上で、参加者との忌憚のない意見交換を行います。</p>	<p><b>Day 2</b> 6/8 13:00-14:30 12F 1208会議室(定員:120名) コンテンツトラック</p>
<p><b>Day 2</b> 6/8 10:00-12:00 1F 特別会議室(定員:90名) SINET5トラック</p> <p><b>「SINET5(基本編)」</b></p> <p>基本編では、SINETの主要なネットワークサービス(インターネット接続、VPN 接続等)について、サービスごとに技術解説(必要となるネットワーク機器や仕様等)や利用手続き(SINETへの申請手順等)について利用事例などを交えて説明します。 (こんな方におすすめ!) SINETの担当になったばかりでSINETの仕組みがよくわからない SINETのサービスを活用したいけど、どのようにすればよいのかイメージがつかめない</p>	<p><b>Day 2</b> 6/8 13:00-15:00 1F 特別会議室(定員:90名) SINET5トラック</p> <p><b>「SINET5(応用編)」</b></p> <p>応用編では、SINET5で現在検討しているネットワークの仮想化技術、大容量ファイル転送技術といった高度なネットワークサービスや400Gbps光信号伝送を実現する最先端のネットワーク技術について紹介します。 (こんな方におすすめ!) さらに一歩踏み込んだSINETの利活用を検討している 将来の最先端学術情報ネットワークの展望を知りたい</p>	<p><b>Day 2</b> 6/8 10:00-12:00 2F 小会議室(非公開) クラウドトラック</p> <p><b>「学認クラウド 導入支援サービス 参加機関向けワークショップ」</b></p> <p>※本トラックは関係者のみご参加いただけます。参加申し込みは受け付けておりませんのでご了承ください。クラウド上でのソフトウェアライセンスの取扱いに関して、学認クラウド 導入支援サービス利用機関・関係機関を対象としたワークショップを開催し、大学・研究機関とクラウド事業者相互の情報交換および課題の共有を行います。</p>
<p><b>Day 2</b> 6/8 13:00-14:30 2F 小会議室(定員:60名) クラウドトラック</p> <p><b>「オンデマンドクラウド構築サービスとその活用事例」</b></p> <p>平成30(2018)年度より、SINETとクラウドを活用した「オンデマンドクラウド構築サービス」の運用開始を予定しています。本セッションでは、サービスの概要と、Jupyter Notebookを使った本サービスの活用事例について紹介します。</p>	<p><b>Day 2</b> 6/8 15:00-17:00 2F 小会議室(定員:60名) 研究データトラック</p> <p><b>「研究データ管理のための新サービス提供に向けて」</b></p> <p>研究データの積極的な公開や共有に向けての機運が高まっています。公開のための障壁が高いと、研究者はオープンサイエンスに参加しません。研究を遂行する段階から、公開を見据えた適切な管理が不可欠です。研究不正対策のための研究データ管理についても同様です。理念だけでは、研究者の行動を変えることはできません。NIIが準備を進める新しい研究データ基盤は、今後研究者が抱えることになる研究データ管理のための課題を克服し、オープンサイエンスへの自発的な参加を誘引するサービスを目指しています。本セッションでは、これまでの開発状況を紹介します。今後の方策について参加者とともにディスカッションします。</p>	<p><b>Day 3</b> 6/9 10:00-12:00 2F 一橋講堂(定員:500名) セキュリティトラック</p> <p><b>「橋渡し人材の育成に向けて」</b> <b>注目</b> —国内サイバーセキュリティ全体の底上げをめざして—</p> <p>本セッションでは、NIIが行う「大学間連携に基づく情報セキュリティ体制の基盤構築」事業において平成29(2017)年7月から本格的にスタートする「サイバーセキュリティ人材育成プログラム」について、3月からの試行運用の状況などを踏まえ、大学間連携に基づいたサイバーセキュリティ人材育成の在り方やサイバー攻撃情報共有の在り方などを、参加者の皆様とパネルディスカッションなどにより議論します。</p>
<p><b>Day 3</b> 6/9 14:30-16:30 19F 1901会議室(定員:90名) 認証(学認)トラック</p> <p><b>「UPKI電子証明書発行サービスのこれから」</b></p> <p>平成29(2017)年、UPKI電子証明書発行サービスは開始から3年目を迎え、年末には次期認証局の調達を予定しています。本セッションでは、クライアント証明書とコード署名用証明書の活用方法、サービス開始からこれまでのアップデート情報を紹介します。また、来年の証明書発行サービスの概要を説明し、その上で参加者の皆様からご要望をいただき議論します。是非ご意見をお寄せください。</p>	<p>オープンフォーラムの次はこちら!</p> <p><b>国立情報学研究所</b> <small>研究成果発表—一般公開</small></p> <p><b>オープンハウス2017</b></p> <p>平成29年 <b>6月9日(金)</b> ▶ <b>10日(土)</b></p> <p>開催時間 <b>9日(金) 11:00~18:00</b> <b>10日(土) 11:00~17:00</b></p> <p>会場 <b>学術総合センター</b> <b>入場無料</b></p> <p>URL <a href="http://www.nii.ac.jp/openhouse/">http://www.nii.ac.jp/openhouse/</a></p>	
	<p><b>オープン</b> 6/10 10:30-16:45 1F 特別会議室 2F 一橋講堂(定員:35名) <b>Day 2</b> 10 SINETアイデアソン</p> <p><b>「SINETアイデアソン 100Gbps/フルメッシュだからOO」</b> <b>注目</b></p> <p>SINETの100Gbps化を記念したアイデアソンイベントです。「100Gbps/フルメッシュだからOO」をテーマに、広帯域およびフルメッシュによる低遅延というSINET5の特性を生かし、これまでは実現できなかった新たなイノベーションにつながるアイデアを競います。老若男女問わず、1~3名で構成されるチーム単位で事前にエントリーすることで参加できます。当日は、SINET関係者が相談員としてお手伝いするので分からないことがあればお気軽にお尋ねください。</p>	